

弥生時代墓制の変化と社会

2023年 **3**月**5**日(日) 9:15 開場 / 9:30 ~ 16:10

講演 篠原和大 (静岡大学人文社会科学部)

基調報告

古屋紀之 (横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター)

大庭重信 (大阪市文化財協会)

ほか (詳細裏面)

会場 登呂博物館交流ホール (登呂博物館1階)

主催 静岡県考古学会

共催 静岡市立登呂博物館

関連事業 登呂博物館特別展シンポジウム
「登呂の時代の墓と祭祀」

3月**4**日(土) 13:10 ~ 16:00

講演: 石川日出志 (明治大学文学部教授)

岡村 渉 (静岡市観光交流文化局)

シンポジウム「登呂の時代の墓と祭祀」

パネラー: 石川日出志、岡村渉、篠原和大 (静岡
大学人文社会科学部)

料金 200円 (要事前申込。2/4 午前9時~)

申込先 登呂博物館 TEL054-285-0476

会場 登呂博物館交流ホール

主催 登呂博物館 / 後援 静岡県考古学会



左上:有東遺跡16次調査木棺墓/右上:
浅間神社境内遺跡弥生土壙墓/左下:
鷹ノ道遺跡3次調査方形周溝墓/右下
鷹ノ道遺跡3次調査5号墓主体部

墓制から弥生社会とその変化を考える

最近、東駿河地方では弥生時代中期方形周溝墓群の発見や報告が続いている。中には、一辺 20 メートルを超える大型墓も含まれる。

方形周溝墓という弥生時代墓制が全国で初めて関東地方で発見されて以降、各地で発見が相次ぎ、特に東日本では大陸系磨製石器や伊勢湾系土器の移動との相関が見えてくると、弥生時代水稻農耕社会を象徴する墓制として知られるようになった。ところが、水稻農耕導入以前の東日本においては、再葬墓や土器棺墓、土壇墓といった伝統的な墓制があり、方形周溝墓の出現以降にも確かに存在する。一方の方形周溝墓も、単独で造られるものや複数が群集して造られるもの、埋葬主体部も単独のものや複数のものがあり、局所的ながらも円形周溝墓が存在するなど多様である。こうした様相は、どのような社会的背景の中で成立したのか。近年発見された墓の発掘調査例を確認するとともに、各地の墓制の変化について整理することで、そこから分かる弥生時代社会の変化に迫りたい。



- | | |
|---------------|---|
| 9:15 | 開場・受付開始 |
| 9:30 | 開催趣旨 |
| 9:35 ~ 10:05 | 報告「静岡県東部の様相」小林晃太郎（沼津市文化振興課） |
| 10:05 ~ 10:35 | 報告「静岡県中部の様相」毛利舞香（静岡市文化財課） |
| 10:40 ~ 11:10 | 報告「静岡県西部の様相」井口美奈（浜松市文化財課） |
| 11:10 ~ 11:50 | 基調報告 1 「関東地方の方形周溝墓と社会」
古屋紀之（横浜市ふるさと歴史財団埋蔵文化財センター）
（昼休憩・特別展観覧） |
| 13:00 ~ 13:40 | 基調報告 2 「近畿地方の方形周溝墓と社会」大庭重信（大阪市文化財協会） |
| 13:40 ~ 14:25 | 講演「東海東部の弥生墓制の変化と農耕社会の展開」篠原和大（静岡大学人文社会科学部）
（休憩 15 分） |
| 14:40 ~ 16:10 | シンポジウム「東日本の弥生墓制の変化と社会」
コーディネーター篠原和大（静岡大学人文社会科学部） |
| 16:10 | 閉会あいさつ |

交通アクセス

<バス> JR 静岡駅から約 10 ~ 15 分

JR 静岡駅南口バスターミナル 22 番のりば

石田街道線「登呂遺跡」行き「登呂遺跡」下車

石田街道線「東大谷」行き、「久能山下」行き「登呂遺跡入口」下車

<車>

東名静岡 IC から約 10 分、東名日本平久能山スマート IC から約 10 分

駐車場 400 円、駐車可能台数約 50 台

※台数に限りがありますのでなるべく公共交通機関をご利用ください



登呂博物館 HP より